

壽林

至て弱鳥也、小有水は猶餌付方六ヶ敷ものにて候、委しくは餌方本にて見べし、まづこゝにざつと記す、鮎にて六分餌、尤玉子の黄實を入、随分和らかに致し、深き餌入れてよし。

〔喚子鳥_下〕粒餌小鳥の分 何にても水を入れる

なへかづきともいふ ぶゆりん ぶがひ すりぶ七分ぶよし、

大きさをすゝめに少し大ぶり、けいろすゝめにうすく、年をかさねてかしらくろく白きくび玉入、見事になる、わか鳥はおほくなべかづきはまれにあり、さへづりすこしあり、

〔飼鳥必用_下〕大壽林

此鳥春秋渡る鳥也、雛鳥の内は頭鷹に似て、峙上候へば鍋かぶりとなり、胸腹は白くなる也、粟にて後摺餌三分餌也、

小壽林

此鳥大壽林より小ぶりにて、峙すれば頭黒くなる也、雛鳥の内雌雄わかりかぬる也、能心をつけ見分べし、餌飼粟にて後すりゑ三分餌也、

せんとう

〔喚子鳥_上〕せんとう ぶがい 生ぶ壹分、五分、粉壹分、あなみ入、

大きさをいゝに大ぶり、毛色すゝめにうすし、せい高く尾ながし、尾のすゑに白き玉あり、さゑづりほそし、ふゆ出る、よはさるいにてかいくき鳥なり、

〔飼鳥必用_下〕せんとう

此鳥堺筋に澤山居鳥也、巢子にて來る也、尤親鳥も來るもの也、これも至て弱鳥にて、飼方鮎六分飼にて飼也、

びんすい

〔飼鳥必用_下〕びんすい

此鳥秋澤山渡る鳥也、いづくにて子を生立るや是を知らず、餌飼かるき三分餌、